

市民の皆様には、日頃よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
今年の夏は猛暑、豪雨、地震、台風と各地で甚大な被害をもたらす
自然災害が発生しました。

これらの被害でお亡くなりになられた皆様に、謹んでお悔やみを申し
上げますと共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧復興を願っております。

今後、本市にも起こりうる自然災害への対策に向けて、防災に強い
政策を提言して参ります。

引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

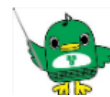


小・中学校の「エアコン設置」は、党派を超えた願い！

6月の定例会において、市当局より「耐震改修・トイレ改修が優先である、エアコン設置はその次の事業である」との答弁があり、エアコン設置の請願は否決されました。しかし、この夏の尋常でない暑さ、そして来年の更なる暑さを考えると、エアコン設置は予算不足や工事順序などに構ってられない緊急事態であると皆が認識致しました。

市長は、2020年6月までエアコン設置をすると発言しましたが、**人命に関わる事態**であることから、2019年6月までに設置する様、議員全員で意見書を提出致しました。

このことから市長は、12月議会で方向性を示す約束をしましたので、注視して参ります。



安全性の向上、道路拡幅へ

地元から長年に渡り要望がありました、津田沼高等学校西側道路拡幅が、実現に向かいます。

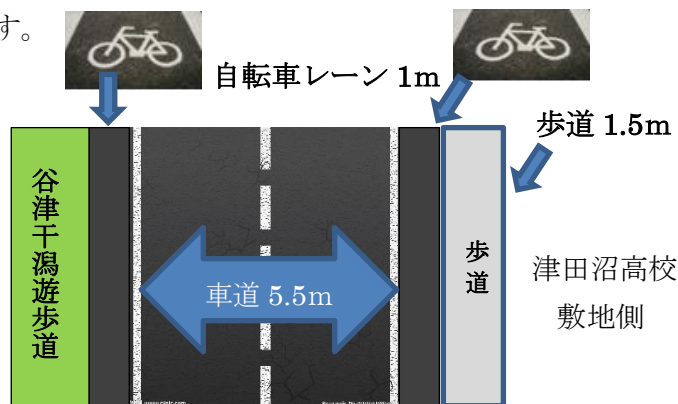
○現状の道路幅 7m → 津田沼高等学校敷地の一部を用地取得し、9mに拡幅されます。

○拡幅工事は平成 31 年 4 月以降に着手予定です。

<道路拡幅に伴う路線バス運行計画について>

平成 28 年 11 月に谷津パークタウンの南東の谷津干潟から新習志野駅方面への延伸を試験運行してもらいました。道路の拡幅後、秋津小学校、団地中央を經由し、1日3往復の計6便が運行される予定となります。

(道路のイメージ→)



357号 秋津第一歩道橋 一部通行止めに関するお知らせ

平成 29 年 6 月 14 日発生 of 交通事故によるエレベーターと階段の復旧に関して、10月下旬から現地周辺において、復旧に必要な材料などを資材置き場に搬入し、その後、工場にて製作中のエレベーター、階段の設置を行い、平成 31 年 2 月末に完了する予定です。(国土交通省より)

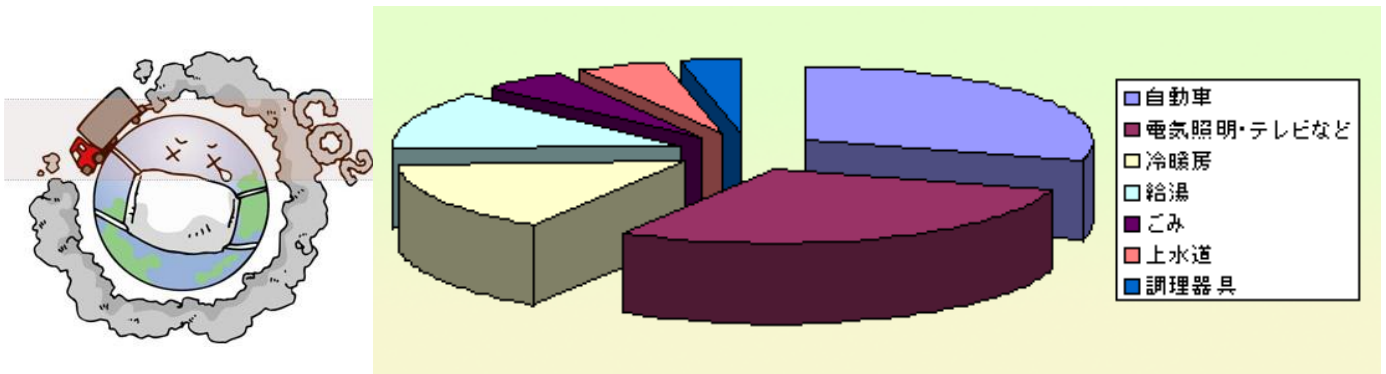
ガス空調か電気空調か？

全国の問題である学校へのエアコン設置が急がれる中、政府自民党は補助金に積極的に取り組む姿勢を見せ始めました。導入手法としては、リース方式、直接方式、PFI 事業方式があり、手法によっては補助金が受けられないことや、全国で集中する為、必ずしも本市に支給される保証はありません。

私は現在、環境審議会の委員として、習志野市地球温暖化対策に取り組んでいる観点から、環境保全を重視し、一般家庭のエアコンとは大きく異なる学校用エアコンについて、習志野市が運営している企業局にガスと電気の特徴、並びに空調について一般質問をしました。

<ガスのメリット>

企業局からの回答としては、都市ガスは電気比べ供給地点でのロスが無い。電気はお客様のところに行くまでにロスがある。ガスは、燃焼時のCO2排出量や大気汚染物質となる窒素酸化物の排出量が少なく、また硫黄酸化物を排出しない。ガス空調の特徴として、夏の電力需要が集中する時間帯の電力量を低く抑えられるため、最終的にはCO2の排出量を削減できる。コスト面で検証すれば、導入費は電気空調が比較的安いですが、光熱費はガスの方が安くすむ。空調機器の耐用年数を考慮し、トータル的にはガス空調が優位である。そして、市営ガスを使用させていただくことで、習志野市民の公共の福祉の増進に貢献できるメリットがある。



※CO2は、地球温暖化の原因物質として世界中で早急な削減が求められている物質です。

鮎川からの提言

流山市は、電源自立型GHP（ガスヒートポンプエアコン）を学校に導入しました。

GHPとは、ガスエンジンでコンプレッサーを駆動し、高効率の冷暖房を実現する空調システムで、停電時においても、電力供給なしで運転を開始し、発電した電力で空調、照明、通信機器などの使用を継続可能とする「自立発電運転」機能が搭載されています。通常時は省エネ空調運転を行い、自立運転時は季節や状況に合わせて「空調+発電」モード、または「発電のみ」モードのどちらかを選択可能です。

小中学校へのエアコン設置はCO2排出量が少ない環境にやさしいガス空調を採用すべきと考えます。また、習志野市の特徴として市営ガスを営んでいる点からもガス空調を基本に検討すべきではないでしょうか。市長は、エアコン設置を決断しました。更に、次世代を担う子どもたちに費用の面で、大きな負担をかけたくないとも言っております。

私は、次世代を担う子どもたちには環境の「ツケ」を極力負わせない検討を要望いたしました。学校は市民の避難所を兼ねていることから災害時を想定したエアコンの採用を強く願います。

皆様からのご意見・ご要望は、FAX 047-452-0781 まで、お願い致します。